天栄村 橋梁長寿命化修繕計画



やすらぎ橋

平成30年12月

福島県岩瀬郡天栄村

一 目 次 一

Ⅰ. 様式1-1		一国土交通省一 インフラ長寿命化 基本計画における記載事項
1. 長寿命化修繕計画の目的	. 1	
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	- 3	1. 対象施設
3. 健全度の把握及び日常的な 維持管理に関する基本方針	- 6	2. 計画期間
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え に係る費用の縮減に関する基本的な方針	10	3. 対策の優先順位の考え方 4. 個別施設の状態等
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期	- 12	5. 対策内容と実施時期 6. 対策費用
6. 長寿命化修繕計画による効果	- 12	
7. 計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者	- 13	
Ⅱ.様式1-2		
対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期		

Ⅲ.優先順位一覧表

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 天栄村の現状

福島県中通り南部に位置する天栄村は人口5,348 人、面積225.5平方km (2018年4月1日現在)の村で、村のほぼ中央部にある「鳳坂峠」を境に気候が大きく二分されています。

東部地区は降雪の少ない太平洋側気候で、釈迦 堂川と竜田川の豊かな水源に恵まれた農耕地帯と なっています。また、工業団地に工場も誘致され ており、村民の約9割が生活をしています。

一方西部地区は、冬期間の積雪量が2mにも及ぶ日本海側気候で、大白森山・二岐山等の急峻な山岳地帯が続き、二俣川・鶴沼川の渓谷や羽鳥湖周辺の高原など、変化に富んだ地形となっており、羽鳥湖周辺には温泉やレジャー施設などの観光ポイントが広がっています。

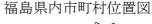
村内には、2017年現在で322.8kmの村道が整備され、国道118号・294号や県道に通じる生活道路や農耕用の道路のほか、レジャー施設へのアクセス道路としても利用されています。

村の管理する橋梁は115橋ありますが、14.5m以上の橋梁が66橋と全体の約6割を占めており、それらの多くは東部地区を流れる釈迦堂川と竜田川に架かっています。また、5m未満の橋梁は16橋と少なく、村の管理する橋梁の多くが比較的大きな橋であることも、維持管理上の課題となっています。

2) 背景

天栄村の管理する橋梁の115橋は、2018年時点で建設後50年を経過する橋梁は全体の約35%ですが、10年後の2028年には51%、20年後の2038年には75%程度に増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。



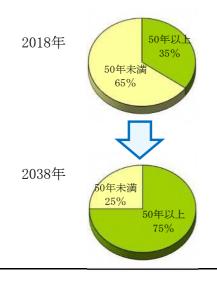


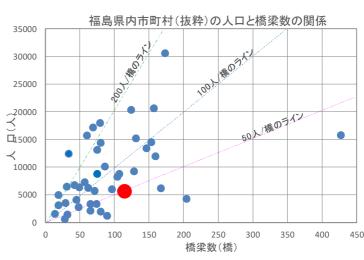


近隣町村との比較

2041110												
面積	人口	人口密度	橋梁数	橋梁の密度	一橋当り の人口							
(km^2)	(人)	(人/km²)	(橋)	(橋/k㎡)	(人/橋)							
225. 5	5, 348	23. 7	115	0. 51	46. 5							
192. 1	20, 370	106.0	124	0.65	164. 3							
35. 4	6, 351	179. 4	49	1.38	129. 6							
60. 4	17, 053	282. 3	68	1.13	250.8							
	(km²) 225. 5 192. 1 35. 4	(km²) (人) 225. 5 5, 348 192. 1 20, 370 35. 4 6, 351	(km²) (人) (人/km²) 225.5 5,348 23.7 192.1 20,370 106.0 35.4 6,351 179.4	(km²) (人) (人/km²) (橋) 225.5 5,348 23.7 115 192.1 20,370 106.0 124 35.4 6,351 179.4 49	(k㎡) (人) (人/k㎡) (橋) (橋/k㎡) 225.5 5,348 23.7 115 0.51 192.1 20,370 106.0 124 0.65 35.4 6,351 179.4 49 1.38							

人口は2018年現在



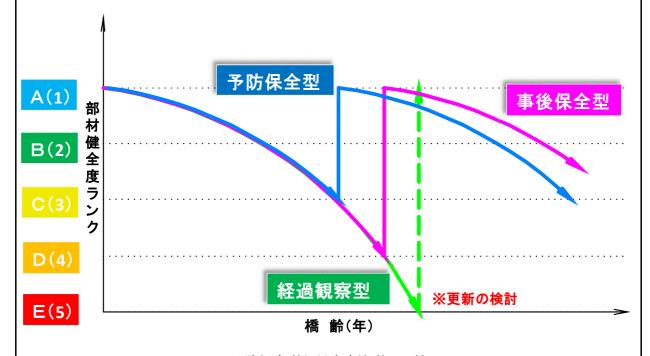


3)目的

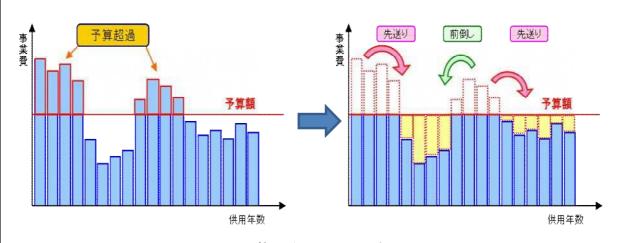
このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に 橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないよう、長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト縮減のためには、従来の事後保全型(対症療法型)から、"損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う"予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで天栄村では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



予防保全型と対症療法型の比較



予算平準化のイメージ

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

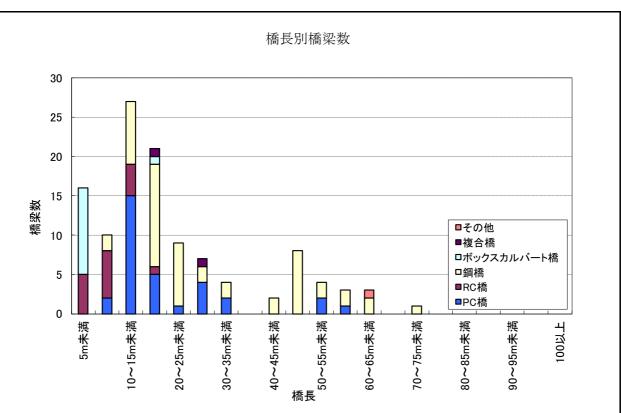
			村道 1級	村道 2級	村道 その他	合計
全	管理	里橋梁数	21	8	86	115
	う	ち計画の対象橋梁数	21	8	86	115
		うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
		うち平成30年度計画策定橋梁数	21	8	86	115

※長寿命化修繕計画の対象:天栄村が管理する橋長2m以上の橋梁全てを対象とします。 対象橋梁位置図(西部地区) 145m以上 🔳

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

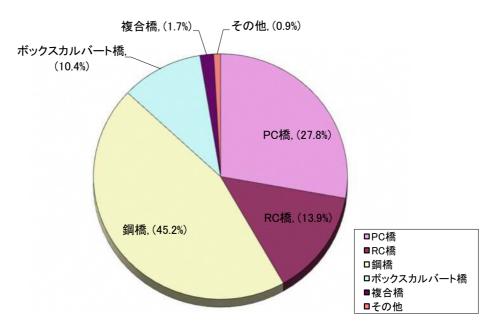
			村道 1級	村道 2級	村道 その他	合計
全	管理	里橋梁数	21	8	86	115
	う	ち計画の対象橋梁数	21	8	86	115
		うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
		うち平成30年度計画策定橋梁数	21	8	86	115

※長寿命化修繕計画の対象:天栄村が管理する橋長2m以上の橋梁全てを対象とします。 対象橋梁位置図(東部地区)



※長寿命化修繕計画で対象としている115橋のうち、14.5m以上の橋梁が66橋あり全体の57%を占めています。また、5m未満の橋梁は16橋あり、そのうち11橋がボックスカルバートです。





※上部工使用材料別では鋼橋が52橋で全体の約45%を占めています。複合橋はRC床版+鋼I桁橋が1橋、RC床版+T桁橋が1橋です。その他は木橋が1橋です。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」(平成26年6月)に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、村職員や補修員等によるパトロールを実施し、排水桝清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

づき、長寿命

化修繕計画を

策定

橋梁メンテナンスサイクル

3) 点検結果

効率的に修

繕・架替えを

実施

天栄村は平成26、28、29年度に近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。橋梁毎の点検結果は次表のとおりです。(判定区分「II」健全度「C」以上表示)

橋梁毎の点検結果

番号	橋梁名	橋長 (m)	径間数	上部工使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣功年	経過年	部材種別	健全度ランク	健全度 区分	損傷	
0062	大徳坊2号橋	14.80	1	PC橋	プレテンT桁	5.00	1984	34	横桁	D(4)	III	漏水·遊離石灰	
0091	第2牧本橋	12.48	1	RC橋	RC T桁	3.60	1958	60	床版	D(4)	III	漏水・遊離石灰	
0111	布引4号橋	9.44	1	PC橋	プレテン床版	6.00	1976	42	床版	D(4)	III	漏水·遊離石灰	
0055	二俣橋	31.60	1	PC橋	斜張橋	5.00	2008	10	斜材、下部工	D(4)	III	漏水·遊離石灰、洗掘	
0059	胡桃沢橋	15.30	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1965	53	主桁	D(4)	III	腐食、防食機能の劣化	
0106	母子沢橋	11.48	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1967	51	下部工	D(4)	III	洗掘	
0070	黒沢2号橋	10.54	1	RC橋	RC T桁	3.60	1960	58	下部工	D(4)	III	ひびわれ、漏水・遊離石灰、欠損	
0046	矢中前橋	23.40	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1970	48	主桁、床版、下部工、支承部	C(3)	П	腐食、剥離・鉄筋露出、ひびわれ、破断	
0003	中小川橋	26.20	1	鋼溶接橋	I桁	6.00	1979	39	主桁、下部工	C(3)	П	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ	
0006	今坂橋	54.00	2	鋼溶接橋	I桁	6.00	1968	50	床版、下部工	C(3)	П	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、ひびわれ	
0005	三本松橋	15.54	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1972	46	床版、下部工	C(3)	II	漏水·遊離石灰、剥離·鉄筋露出	
0021	植松橋	18.10	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	6.50	1977	41	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、ひびわれ	
0065	第4黒沢橋	10.24	1	PC橋	プレテン床版	7.00	1981	37	主桁、床版	C(3)	П	ひびわれ、床版ひびわれ	
0013	塩平橋	15.36	1	鋼溶接橋	H形鋼	8.00	1990	28	床版、下部工	C(3)	П	床版ひびわれ、ひびわれ、漏水・遊離石灰	
0001	三敷橋	63.60	2	鋼溶接橋	I桁	8.00	1997	21	下部工	C(3)	П	ひびわれ	
0009	黒沢橋	26.00	1	PC橋	ポステンT桁	7.00	1988	30	下部工	C(3)	П	ひびわれ、漏水・遊離石灰	
0008	赤石橋	23.00	1	鋼溶接橋	H形鋼	7.00	1990	28	下部工	C(3)	П	ひびわれ	
0007	今坂橋歩道橋	56.00	2	鋼溶接橋	I桁	0.00	1990	28	主桁	C(3)	П	遊間の異常	
0014	沖内橋	71.70	3	鋼溶接橋	I桁	5.00	1971	47	下部工	C(3)	П	ひびわれ、漏水・遊離石灰	
0015	矢吹沢橋	54.40	2	PC橋	ポステンT桁	5.05	1985	33	主桁	C(3)	П	ひびわれ	
0011	第6黒沢橋	15.60	1	PC橋	プレテン床版	8.30	2001	17	下部工	C(3)	П	ひびわれ、漏水・遊離石灰	
0010	第5黒沢橋	14.96	1	PC橋	プレテンT桁	8.00	1993	25	下部工	C(3)	П	ひびわれ、漏水・遊離石灰	
0064	第3黒沢橋	12.60	1	PC橋	プレテン床版	7.00	1983	35	主桁	C(3)	П	腐食、防食機能の劣化	
0071	安養寺橋	10.60	1	PC橋	プレテン床版	7.50	2000	18	床版、下部工	C(3)	П	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、ひびわれ	
0012	黒沢3号橋	14.65	1	RC橋	RC T桁	3.60	1962	56	下部工	C(3)	П	ひびわれ	
0066	第7黒沢橋	12.44	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1967	51	主桁、床板、下部工	C(3)	П	腐食、漏水·遊離石灰、洗掘	
0020	舘ノ越橋	26.20	1	鋼溶接橋	I桁	5.00	1979	39	主桁、床板、下部工	C(3)	П	腐食、床版ひびわれ、ひびわれ	
0052	熊谷橋	41.00	2	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1979	39	主桁、床板、下部工	C(3)	П	腐食、床版ひびわれ、ひびわれ	
0032	中河原橋	48.90	2	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1974	44	床版、下部工	C(3)	п	床版ひびわれ、ひびわれ	
0089	不動橋	10.50	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1964	54	主桁、床版、下部工	C(3)	п	腐食、漏水・遊離石灰、うき	
0053	藤沢橋	29.10	2	RC+鋼橋	RC床版+H形鋼	3.60	1959	59	主桁、床板、下部工	C(3)	П	腐食、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰	
0054	藤沢5号橋	18.90	2	RC橋	RC床版+RCT桁	3.50	1962	56	主桁、床板、下部工	C(3)	П	ひびわれ、漏水・遊離石灰	
			2		H形鋼	4.00	1902				П		
0028	上白子橋	48.86		鋼溶接橋				45	主桁、横桁、床版	C(3)		腐食・防食機能の劣化、床版ひびわれ	
0043	新屋敷橋	48.40	2	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1979	39	主桁、床版	C(3)	П	腐食・防食機能の劣化、漏水・遊離石灰 ひびわれ、剥離・鉄筋露出、変形・欠損	
0092	第3牧本橋 滑石1号橋	13.54	1	RC橋	RC T桁 H形鋼	3.60 4.00	1955 1985	63	主桁、下部工	C(3)	П		
				鋼溶接橋					主桁、下部工			遊問の異常、ひびわれ	
0058	ホダ沢橋	24.10	1		H形鋼	5.30	1987	31	主桁、下部工	C(3)	П	漏水・滞水、ひびわれ	
0019	西河原橋	58.84	2		ポステンT桁	4.50	1987	31	下部工	C(3)	П	ひびわれ、漏水・遊離石灰	
0026	仲川原橋	56.20	2	鋼溶接橋	I桁	6.50	1986	32	下部工	C(3)	II	UUDA	
0112	穴沢橋	12.50	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1966		主桁、横桁、下部工	C(3)	П	腐食・防食機能の劣化、変形・欠損	
0067	第8黒沢橋	11.42	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1968			C(3)	П	腐食·防食機能の劣化	
0068	第9黒沢橋	10.42	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1968	50	主桁、横桁	C(3)	П	腐食、防食機能の劣化	
0061	布引2号橋	15.00	1	PC橋	プレテンT桁	8.00	1992	26	横桁	C(3)	П	ひびわれ	
0069	黒沢1号橋	5.45	1	RC橋	RC床版	3.60	1965	53	床版、下部工	C(3)	П	漏水・遊離石灰、ひびわれ、変形・欠損	
0044	板屋屋敷橋	47.60	2		H形鋼	4.00	1981	37	床版	C(3)	П	床版ひびわれ	
0033	寺ノ内橋	18.22	1		H形鋼	4.00	1984		床版	C(3)	П	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰	
0039	宮下橋	19.73	1		H形鋼	4.00	1987		床版	C(3)	Π	床版ひびわれ	
0060	河内川橋	17.40	1	1	H形鋼	4.00	1965		主桁、横桁	C(3)		腐食·防食機能の劣化	
0048	向山橋	22.61	1		H形鋼	4.00	1978		主桁、横桁	C(3)	II	腐食・防食機能の劣化	
0042	戸ノ内橋	48.40	2	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1979		主桁	C(3)	П	腐食・防食機能の劣化	
0050	上川原橋	22.60	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1981		主桁	C(3)	П	腐食・防食機能の劣化	
0057	板小屋橋	28.81	1	PC橋	ポステンT桁	7.00	1983	35	主桁、下部工	C(3)	Π	 離・鉄筋露出、ひびわれ	
0035	塚越橋	18.50	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1987	31	主桁	C(3)	Π	遊問の異常	
0098	矢木沢橋	6.02	1	RC橋	RC床版	6.00	1955	63	床版、下部工	C(3)	П	剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損	
0022	竜田橋	30.30	1	鋼溶接橋	I桁	3.00	1980	38	床版、下部工	C(3)	П	床版ひびわれ、ひびわれ	
					プレテン床版	8.00	1992		床版、下部工	C(3)	П	漏水・遊離石灰、ひびわれ	

橋梁毎の点検結果

番号	橋梁名	橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣功年	経過年	部材種別	健全度ランク	健全度 区分	損傷
0034	弁天橋	20.58	1	鋼溶接橋	H形鋼	5.00	1987	31	下部工	C(3)	II	ひびわれ
0040	川原田橋	15.20	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1990	28	下部工	C(3)	II	漏水・遊離石灰
0108	平滑沢橋	12.46	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1965	53	主桁、横桁	C(3)	II	腐食・防食機能の劣化
0056	奥二俣橋	17.50	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1968	50	主桁、横桁、下部工	C(3)	II	腐食・防食機能の劣化、洗掘
0105	湯小屋沢橋	8.44	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1968	50	主桁	C(3)	II	腐食・防食機能の劣化、遊間の異常
0073	沢邸橋	12.65	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1990	28	下部工	C(3)	II	漏水·遊離石灰
0084	清水山2号橋	5.30	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1965	53	主桁、床版、下部工	C(3)	II	腐食・防食機能の劣化、変形・欠損
0113	羽鳥湖線1号橋	10.40	1	PC橋	PC桁橋	3.50	1975	43	主桁、下部工	C(3)	II	漏水·滞水、洗掘
0049	広戸川橋	15.50	1	鋼溶接橋	H形鋼	4.00	1979	39	主桁	C(3)	II	遊間の異常
0032	平成橋	19.70	1	鋼溶接橋	H形鋼	5.00	1990	28	床版	C(3)	II	床版ひびわれ
0024	太多郎橋	53.02	2	PC橋	ポステンT桁	5.00	1978	40	下部工	C(3)	II	ひびわれ
0097	梨ノ木平橋	11.84	1	鋼溶接橋	H形鋼	0.00	1965	53	主桁、床版、下部工	C(3)	II	腐食・防食機能の劣化、変形・欠損
0109	布引1号橋	12.85	1	PC橋	プレテン床版	8.58	1991	27	下部工	C(3)	II	ひびわれ
0085	大徳坊1号橋	14.82	1	PC橋	プレテンT桁	4.97	1990	28	横桁	C(3)	II	漏水·遊離石灰
0102	藤沢3号橋	10.46	1	PC橋	プレテン床版	3.60	1961	57	下部工	C(3)	II	変形・欠損
0101	藤沢2号橋	10.46	1	PC橋	プレテン床版	3.60	1963	55	下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0096	八佐ェ門橋	6.40	1	RC橋	RC床版	4.00	1965	53	下部工	C(3)	II	剥離·鉄筋露出、漏水·遊離石灰
0107	平滑橋	6.44	1	RC橋	RC床版	4.00	1965	53	下部工	C(3)	II	漏水·遊離石灰
0118	屋敷前橋	2.70	1	RC橋	RC床版	6.00	1955	63	下部工	C(3)	II	ひびわれ
0075	上松本1号橋	3.40	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.70	1965	53	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、ひびわれ
0076	上松本2号橋	3.00	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.70	1965	53	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、ひびわれ
0077	上松本3号橋	2.90	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	5.40	1965	53	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、剥離・鉄筋露出、ひびわれ
0078	上松本4号橋	2.44	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.00	1965	53	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、剥離・鉄筋露出、変形・欠損
0079	上松本5号橋	2.40	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	5.80	1965	53	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、剥離・鉄筋露出、うき
0080	上松本6号橋	2.44	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.30	1965	53	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰
0081	上松本7号橋	2.43	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.60	1965	53	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰
0082	上松本8号橋	2.44	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.70	1965	53	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、ひびわれ
0114	羽鳥湖線2号橋	3.53	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.00	1998	20	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、ひびわれ
0093	前沢橋	3.34	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.00	1975	43	床版	C(3)	II	漏水·遊離石灰
0104	吉ノ目橋	4.31	1	RC橋	RC床版	4.00	1964	54	下部工	C(3)	II	漏水·遊離石灰
0090	第1牧本橋	2.70	1	RC橋	RC床版	3.70	1965	53	下部工	C(3)	II	補修・補強材の損傷、変形・欠損

区分		状 態		健全度 ランク	判定区分	備考		
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない 状態 構造物の機能に支障が生じていない が、予防保全の観点から措置を講ず ることが望ましい状態		A(1)	健全	損傷が認められない		
I				が、予防保全の観点から措置を講ず		B(2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う 必要がない
		構造物の機能に支障が生じている可		C(3)	状況に応じ 早めに対策	状況に応じて補修を行う 必要がある		
Ш	Ⅲ 早期措置段階	能性があり、早期に措置を講ずべき 状態		D(4)	早急に補修補強	速やかに補修を行う必要がある		
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、 又は生じる可能性が著しく高く、 <mark>緊急</mark> に措置を講ずべき状態		E(5)	緊急対応の 必要	緊急対策の必要がある		

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係

4) 主要部材の損傷写真 判定区分「Ⅲ」健全度「D(4)」の橋梁



62. 大徳坊2号橋: プレテンT桁橋 (橋長:14.8m、1984年竣功) 端横桁の錆汁を伴った遊離石灰 ※内部鋼材の腐食の進行は、耐荷力の低下 に影響する。(迂回路有)



91. 第2牧本橋: RCT桁橋 (橋長: 12.5m、1958年竣功) 床版下面の錆汁を伴った遊離石灰 ※内部鉄筋の腐食の進行は、耐荷力の低下 に影響する。(迂回路無)



111. 布引4号橋:プレテン床版橋 (橋長:6.6m、1976年竣功) 間詰め部の錆汁を伴った遊離石灰 ※内部鋼材の腐食の進行は、耐荷力の低下 に影響する。(迂回路無)



55. 二俣橋:斜張橋 (橋長:31.6m、2008年竣功) ケーブル定着部の錆汁を伴った遊離石灰 ※内部鋼材の腐食の進行は、耐荷力の低下 に影響する。(迂回路有)



59. 胡桃沢橋:鋼H桁橋 (橋長:15.3m、1965年竣功) 主桁端部の板厚減少を伴った腐食 ※支点上での板厚減少は、耐荷力の低下が 推測される。(迂回路有)



106. 母子沢橋:鋼H桁橋 (橋長:11.48m、1967年竣功) A2橋台基礎部の洗掘 ※基礎部の洗掘により、鉛直支持機能の低 下が推測される。(迂回路無)

4) 主要部材の損傷写真 判定区分「Ⅲ」健全度「D(4)」以上の橋梁



70. 黒沢2号橋: RCT桁橋 (橋長: 10.54m、1960年竣功) 橋台前面及び側面の遊離石灰を伴ったひび われ及びうき、欠損 ※凍結融解の繰り返しにより、主桁の脱落 へと進展する可能性がある。(迂回路無)

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

天栄村が管理する橋梁の中で、架設後30年以上経過した橋梁は全体の約75%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。また、天栄村が管理する橋梁の中には、供用開始当時に比べ利用状況が著しく減少している橋梁もあることから、現在の利用状況を把握したうえで、橋の統合や廃止を視野に入れた維持管理を行っていきます。

1) 管理区分の設定

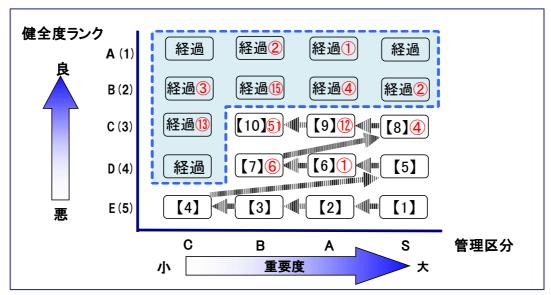
修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報(橋長や幅員等)や重要度を考慮した管理区分を 橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

			自在区分。	人上我	点包	簡易予防保全		
	管理区分	該当橋梁	補修時期	寿 命	日常巡回 ※2	橋梁点検 (1回/5年) ※3	橋面洗浄	桁洗净
s	本格予防保全型	- 跨線橋 - 跨道橋 - 儒長100m以上 - 重要度(※1) 該当3つ	健全度ランクD(4) にしない	原則架替えは行わない	0	0	2 **4	2
A	予防保全型	重要度該当2つ	健全度ランクD(4) にしない	100年	0	0	5	5
В	事後保全型	重要度該当0 または1つ	健全度ランクE (5) にしない	60年	0	0		5
С	経過観察型	・重要度該当0 かつ ・カルバート橋 ・5m未満橋梁 ・仮橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE (5) になるまで	耐用年数まで	0	0		
	備考	※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②1,2級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は橋梁ごとに設定			※4簡易 全費用を に計上す ②:2年に ⑤:5年に	橋梁ごと る 1回

2)優先順位のつけ方

優先順位は以下のマトリックスにより管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします。



※丸囲み数字は、該当橋梁数

3)優先順位を考慮した橋梁

黒沢2号橋の架かる1級村道黒沢線は、第6黒沢橋周辺の民家を最後に民家等は無く、また冬期間は積雪により通行止めとなる路線のため、順位を健全度「D」の最下位に修正しました。

(2位→7位)



矢中前橋は主要部材の損傷は「C」ですが、 鋼製支承の下沓が破断しており、早期の対策 が必要と考えられることから、順位を修正 しました。(26位→8位)



矢中前橋:下沓の破断

4) 全橋梁の優先順位一覧表

上記を考慮した橋梁全体の優先順位一覧表は添付の通りです。

- 5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期
 - (5. 対策内容と実施時期)

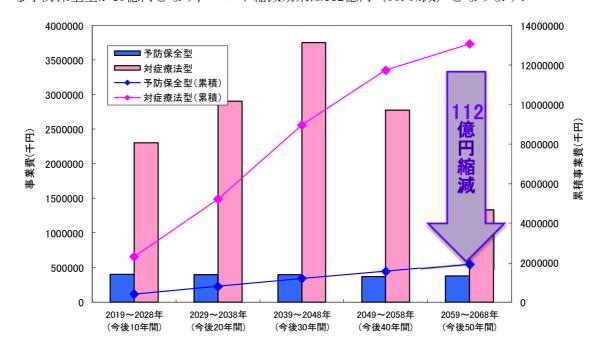
様式1-2による

- (6. 対策費用の概算は、各橋梁の長寿命化修繕計画を参照)
- ※今後は定期点検や補修設計・工事の際に、新技術導入の可否を都度検討し、維持管理費用の更なる縮減に努めます。

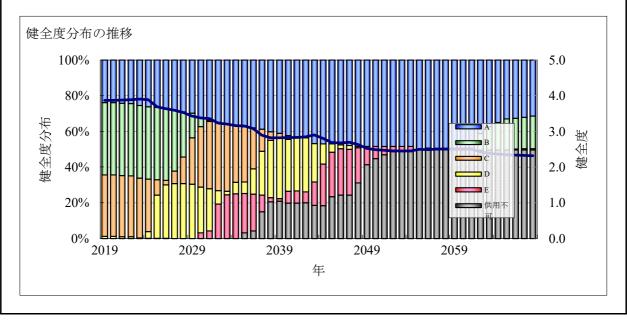
6. 長寿命化修繕計画による効果

天栄村が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間での予算シミュレーションを 行い、以下の結果が得られました。

長寿命化修繕計画を策定する115橋について、年間の予算制約額を0.4億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が131億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が19億円となり、コスト縮減効果は112億円(85.0%減)となります.



また、計画的な修繕を実施することにより良好な健全度を維持することが可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

天栄村 建設課 tel:0248-82-2113

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者 日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎